

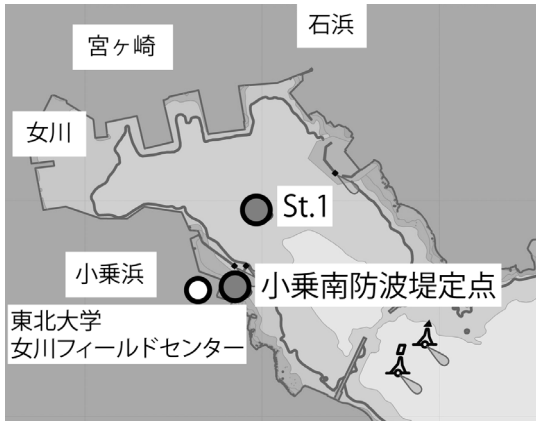
週刊 女川湾海況速報 (No.4)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

8 月 6 日から 10 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：水温は水深とともに下降。表層（0m）と底層（5m）で 0.5～1.4℃の水温差。塩分は 33.2～33.6 パーミル、8～9 日に表層近くでやや下降。

水深 [m]	8 月 6 日 (月)	8 月 8 日 (水)	8 月 9 日 (木)	8 月 10 日 (金)
0	20.0 (33.6)	21.4 (33.3)	21.6 (33.2)	21.4 (33.5)
5	18.6 (33.6)	20.6 (33.4)	20.4 (33.5)	20.9 (33.6)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：鉛直的には 9 日まで水深とともに上昇傾向。経時的には 8 日に底層で上昇。10 日には全層で顕著な上昇。

水深 [m]	8 月 6 日 (月)	8 月 8 日 (水)	8 月 9 日 (木)	8 月 10 日 (金)
0	0.7	0.6	0.8	2.1
5	0.8	1.2	1.2	2.1

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比べて、下降傾向。経時的にも下降傾向にあるが、7～8mg/l 台を維持。

水深 [m]	8 月 6 日 (月)	8 月 8 日 (水)	8 月 9 日 (木)	8 月 10 日 (金)
0	8.2	8.0	8.2	7.6
5	8.7	8.1	8.1	8.1

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温は水深とともに下降。塩分は水深とともに上昇。底層（20m）は外洋水の影響と推定。濁度は 0.4～4.2FTU、底層で最大。溶存酸素は 7.7～8.5mg/l、底層で最小。

8 月 9 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	21.5	33.3	0.8	8.3
5	20.7	33.6	0.4	8.3
10	20.1	33.6	0.5	8.4
15	19.2	33.6	0.6	8.5
20	17.8	33.7	4.2	7.7

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。